

令和5（2023）年度 指定管理者制度導入施設 管理運営評価結果書

施設名称		五百淵公園	施設区分		施設管理型			
施設所在地		郡山市字山崎1番1 外		指定管理者		公益財団法人郡山市文化・学び振興公社		
指定期間		平成31年4月1日～令和6年3月31日		施設所管部課		都市構想部公園緑地課		

評価項目		評価基準	配点（標準点）	指定管理者自己評価	自己評価コメント	市評価	市評価コメント	特記事項
Ⅰ 市民の平等な利用の確保								
1	平等利用	市民の利用にあたり、公平であるか。（例：使用許可、使用料等の減免、利用の制限 等）	2(1)	2	条例・規則に基づき、公平・平等に対応した。イベント受付は電子メール・FAXでの募集・抽選制を導入し公平性を確保した。	2		
2	危機管理、事故・災害等への対策・対応	事故・災害発生時又は危険予測時の対策・対応が行われているか。（例：マニュアル整備、訓練等）	2(1)	1		1		
小計			4	3		3		
Ⅱ 施設の効用の最大限の発揮								
3	管理運営方針	市が示している管理運営方針及び仕様書に合致した、施設の管理運営がなされているか。	4(3)	4		3	管理運営方針及び仕様書に基づき、概ね水準通りの管理運営を行っていた。	
4	事業実施状況	計画どおり事業が実施されているか。サービス向上の取り組みがなされているか。	4(3)	4	事業は計画通り実施し、アンケート等でも参加者から好評である。電子メールでの受付を開始し、抽選制として公平に参加できるよう務めた。クリーンアップ作戦は五百淵保勝会や町内会の協力により、指定管理当初より参加者が増えている。	4		
5	広報・PRの実施	利用促進のための取り組みを実施しているか。（例：事業の開催案内、ホームページの管理 等）	4(3)	3		3		
6	接客態度	言葉づかい、態度、電話対応、名札、服装等は適切か。	4(3)	4	公社主催の接遇研修に参加した。常日頃から名札着用を徹底し、適切な言葉づかいや態度を心がけて、電話応対や巡回にあたった。作業時には適した服装で臨んでいる。	3	職員の勤務態度への苦情は見られなかった。	
7	苦情・要望の把握・対応	利用者からの意見、苦情を受けて、迅速に対応できているか。（記録簿整備を含む。）特に重要な事案については、遅滞なく市へ報告しているか。	4(3)	3		3		
8	市、関係機関、類似施設、地元等との連携	市、他の指定管理者、関係機関、類似施設、周辺施設、地元等との連携を図っているか。（例：施設間の回遊・相互利用、地元とのタイアップ、積極性 等）	4(3)	4	五百淵保勝会や地元敬老会と連携し、園内の美化活動を行った。五百淵保勝会の総会に参加し、意見交換を行った。明るいまちづくり推進委員会と協力し、園内広場の緑化活動を行った。また、日本野鳥の会郡山支部の協力を得て、日常的に園内の野鳥観察を実施し、野鳥の森学習館に情報を掲示した。野鳥の会とは、里山再生地区のニセアカシアの芽かき活動も協力して行った。	4		
9	利用者アンケートへの対応状況	利用者アンケートによる指摘のうち、改善すべき事項について対応を図っているか。	3(2)	3	利用者アンケートに指摘事項はみられなかった。以下積極的に改善した点 ①日本野鳥の会郡山支部の方たちとニセアカシア芽かきを行った。 ②園内に野良猫の住処が作られていたため、所管課へ報告し複数回にわたり注意喚起を行った。 ③1ヶ月に1度、遊具の日常点検を行った。酷暑時には利用注意喚起の掲示を行った。 ④ブランコの着座部下にくぼみができているため砂入れ、くぼみをなくし安全を確保した。 ⑤腐食している枝を職員で処理し、コスト削減した。	3		
小計			27	25		23		
Ⅲ 管理経費の縮減								
10	帳簿管理・経理	帳簿等は適正に管理されているか。契約にあたり、適正な経費算定（積算）が行われたか。業務委託や修繕について適正な監督、検収が行われたか。	5(3)	5	当公社規程に基づき、厳格に帳簿等を管理した。契約等の業務においても、必要書類を整備し、適正に行った。社外監事による監査、公認会計士による会計指導を受けた。	5		
11	収入確保、支出の適正化等、予算の執行状況	収入確保の取り組みを推進しているか。指定管理料を含め、支出が適正に行われたか。	5(3)	3		3		
小計			10	8		8		

(様式2)

Ⅳ 管理を安定して行う人的、物的能力その他経営上の基盤								
12	人員・研修体制	人員の配置、勤務実績、労働環境等は適切か。 必要な資格、経験等を有する人員が確保されているか。職員に対し研修を実施しているか。	5 (3)	5	資格の有無や経験等踏まえ、他施設と兼務しながら適切な人員配置を行った。職員がそれぞれ接遇研修・遊具の点検講習会・防火管理者講習・刈払い機講習・伐木等特別教育講習を受講。また、樹木医、公園管理士の有資格者や日本野鳥の会郡山支部会員の方から指導を受けている。	5		
13	収支状況	収支予算書どおりの収支状況となっているか。	5 (3)	3		3		
14	連絡調整	協定書等に従い、市への各種届出、報告、提出、協議、相談等を適切に行っているか。市や地域、関係機関との連携調整を適切に行っているか。	5 (3)	5	各種届出、報告、書類提出、協議、相談を適切に行った。また、地域や関係機関との連絡調整も適切に行った。警報発令時や巡回時の点検で異常があった場合は逐一報告し、事務局とも共有している。野鳥の森学習館の管理人とも情報共有をしている。	4	枯木伐採時にメールにて市へ事前確認を行うなど、相談体制は適切であった。	
小計			15	13		12		
Ⅴ 適切な施設の維持管理								
15	施設・設備の保守管理	法定点検が確実に行われているか。 施設・設備が適切に利用できるような状態が保持されているか。（修繕を含む。）	12 (5～7)	8	法定点検・定期点検を遺漏なく行った。また、修繕計画を作成し修繕等が必要な場合は所管課へ報告、可能な限り速やかに実施し適切な保守管理に努めた。枯枝や支障のある枝葉は適宜剪定している。炎暑のもとでの遊具使用について注意喚起するなど安全対策に努めた。巡回の記録や点検については整備し職員間で共有している。警報発令時は危険個所の現場確認を行い、逐一所管課及び事務局に報告し、情報の共有をしている。	6	修繕等の年度計画が作成され、適切に行われていた。	
16	安全の確保	建物・設備等が安全に利用できるような状態が保持されているか。	5 (3)	3		3		
17	清掃・衛生・美観維持	利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。市の指定管理施設にふさわしくないチラシやパンフレットの陳列、ポスター掲示等はないか。	5 (3)	4	除草・清掃、屋外トイレ清掃、廃棄物処理等を計画どおり実施した。園路巡回や野鳥観察会の際に随行職員はゴミ拾いを行った。また不法投棄物を発見した場合、複数にわたって掲示等で注意喚起し撤去した。	3	巡回時のゴミ拾いなど、随時美化が行われていた。	
18	備品の管理	備品が適切に管理されているか。	3 (2)	3	備品はない。	2		
19	持ち込み物品等の管理	持ち込み物品等が適切に管理されているか。 （例：持ち込み物品等管理簿、表示 等）	3 (2)	3	持ち込み物品はない。	2		
20	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告、手続き等を行っているか。	2 (1)	2	関係する法令、条例、規則等を遵守し、必要な点検、報告、手続等を行った。	2		
21	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されているか。 個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じているか。	2 (1)	2	当社規程に基づき適切に管理し、情報の漏洩、滅失等の事故防止に努めた。情報セキュリティ要綱を策定し運用、個人情報ハンドブックを整備している。	2		
小計			32	25		20		
Ⅵ 雇用及び地域経済への配慮								
22	雇用・労働条件への配慮	労働基準法等の労働関係法令、郡山市公契約条例等の順守がなされているか。 労働条件への配慮は十分か。	3 (2)	3	労働基準法等の労働関係法令、郡山市公契約条例等を遵守した。また、法定を上回る有給休暇の取得ができるような環境づくりに努めた。男性の育児休暇の拡充や、職場環境について必要な事項をまとめた安全衛生管理要項を定めた。	3		
23	地域経済への配慮	計画通りに市内からの職員採用を行っているか。 再委託は計画通り適正に行われているか。 市内事業者への再委託を行っているか。	3 (2)	3	職員はすべて市内から雇用した。再委託業務は計画どおり行い、可能な限り郡山市内の業者に発注した。消耗品は全て市内の業者から購入した。クリーンアップ作戦においては、五百淵保勝会や町内会など地域との連携により実施している。	3		
小計			6	6		6		

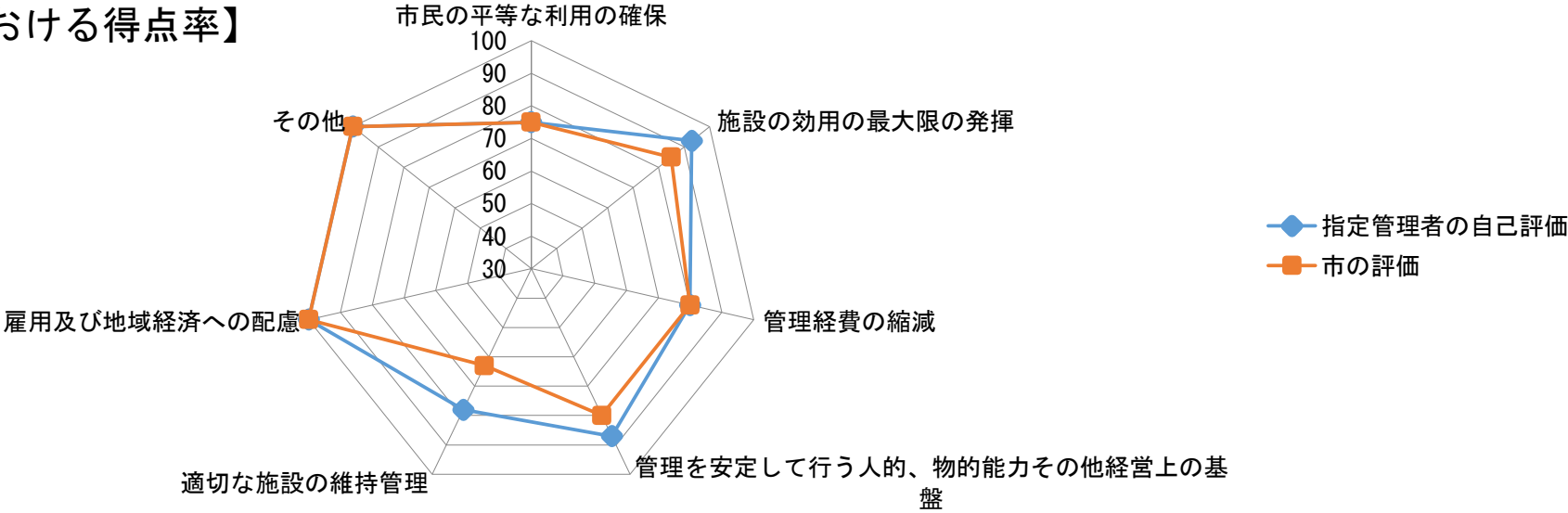
(様式2)

Ⅶ その他							
24	活動指標	設定した指標の目標値（情報発信回数）を達成しているか。	2 (1)	2	指標は設定されていないが、各種イベントや活動報告等をウェブサイトに掲載し、情報発信に努めている。	2	
25	成果指標	設定した指標の目標値（施設利用者数）を達成しているか。	2 (1)	2	指標は設定されていないが、野鳥の森学習館利用者にも声掛けし、学校団体が来館した際は公園で野鳥観察を行っている。	2	
26	指定管理業務への姿勢	積極的な管理運営、市に協力的であるか 地域や民間事業者と円滑な関係を構築しているか	2 (1)	2	市に協力して積極的な管理運営を行った。また、地域や関係団体との円滑な関係構築に努めた。	2	
小計			6	6		6	
合 計 点			100	86		78	

実 績						
	令和元（2019）年度	令和2（2020）年度	令和3（2021）年度	令和4（2022）年度	令和5（2023）年度	合計
指定管理料（千円）	5,670	5,973	5,900	5,658	5,673	28,874
利用料金収入（千円）	0	0	0	0	0	0
利用者数（人）						28,874
二次評価（市の評価）	A	B ⁺	B ⁺	B ⁺	B ⁺	
備 考	利用者数のカウントは出来ない	利用者数のカウントは出来ない	利用者数のカウントは出来ない	利用者数のカウントは出来ない	利用者数のカウントは出来ない	

サ ー ビ ス 向 上 対 策
・ 日本野鳥の会郡山支部の方と里山再生地区のニセアカシアの芽かきを行った。 ・ 不法投棄物について注意喚起をし、適切に処理した。 ・ 遊具の日常点検を月に1回実施、整備を行った。

【各評価区分における得点率】



(様式2)

【一次評価（指定管理者による自己評価）】

評価	点数	評価内容
A ⁺	86	【総合評価（評価できる点等）】 ・園内の巡回を随時行い、危険個所の把握や設備等の点検に積極的に取り組んだ。（不法投棄物等） ・地元の団体や住民の方々と連携し、美化活動に積極的に取り組んだ。 ・園内の支障木伐採や枝葉の切り落とし、設備等の修繕は、可能な範囲で職員が対応した。 ・五百淵池南西側森林内のナラ枯れを予防するため、幹にビニールシートを被覆した。 ・安全衛生委員会の設置や育児休暇拡充など労働環境の改善に努めた。 ・BCP（業務継続計画）、施設管理要項、情報セキュリティ要項を策定し運用している。 ・外来種カミキリムシ被害の有無の経過観察を行っている。 ・日本野鳥の会郡山支部と協力し、要注意外来生物であるニセアカシアの芽かきを行った。 ・随時日常点検を行い、修繕リストや計画を作成した。 ・遊具の日常点検を月に1回行った。 【改善のための行動計画への対応状況】 ・前年度に引き続き枯木の伐採を行ったが、数が多く風や雪の影響で対応しきれないものもあった。 ・池を囲む支柱については業者にも確認し、経過観察を行った。

【二次評価（市による評価）】

評価	点数	評価内容
B ⁺	78	【総合評価（評価できる点等）】 ・地域団体や関連施設との円滑な連携等に努めている。 ・安全衛生委員会の設置とともに安全衛生管理要綱を定めるなど、積極的な安全確保への取組みを行っている。 ・公園内での問題発生時、市への連絡が迅速かつ遺漏なく行われている。 【次年度に向けて改善を望む点】 ・SNS等を用いた広報など、既存手法以外の新たなPR方法を検討してほしい。 ・利用者アンケートを参考とした自主事業の更なる充実等により、サービス向上に取り組んでほしい。

【指定期間全体を振り返っての総括評価】

	プラス評価となる点	マイナス評価となる点
指定管理者による評価 （一次評価）	・修繕リストを作成し、計画的に修繕を行った。危険個所は速やかに立入禁止措置をし、市に報告した。 ・コロナウイルス感染症拡大の時期を含むが、独自に作成した新型コロナウイルスガイドラインを運用し、安心安全に施設管理を行った。事業は、換気や定員等の見直しで工夫してコロナ渦でも市と協議しながら取り組んだ。 ・施設管理にあたり、接遇研修・遊具の点検講習会・防火管理者講習・刈払い機講習・伐木等特別教育講習を受講し、日常業務に活かした。コスト削減のため、伐木等特別教育講習に参加した職員で可能なものは伐採を行った。 ・五百淵保勝会や敬老会等、地域の団体と連携をとり、事業や管理業務を行った。特にクリーンアップ作戦は指定管理当初よりも大幅に参加者数が増加した。 ・日本野鳥の会郡山支部と協力し、五百淵公園内の自然の保全に努め、ニセアカシアの芽かき等を行った。	・老木が多く、日々の巡回で経過観察を行っていたが倒木が多々あった。
市による評価 （二次評価）	・地域の団体や日本野鳥の会との連携が取れており、公園事業への参加者増や自然環境の保全が図られた。 ・利用者が野鳥の観察を楽しむ場としても機能し、生物多様性保全に貢献した。	・利用者アンケートを踏まえた施設管理に取り組み、SNS等を用いた広報や自主事業の更なる充実等により、利用者の増加に努めてほしい。